

# SX500シリーズスタックブルスイッチでのTCP輻輳回避の有効化

## 目的

TCP輻輳回避は、ネットワークの輻輳を回避するための付加的な増加または乗法的な減少とスロースタート方式を含む技術です。TCPセッションが確立されると、TCPエンドポイント間でネットワーク輻輳が発生し、送信されるセグメントが失われる可能性が高くなります。フロー制御は輻輳の問題に対処しません。これらの問題に対処するために、一連の輻輳回避アルゴリズムが導入されています。これらのアルゴリズムにより、TCPは重要なパケットの優先順位をより適切に設定でき、輻輳の回避に役立ちます。

このドキュメントの目的は、Sx500シリーズスタックブルスイッチでTCP輻輳回避を有効にする方法を説明することです。

## 適用可能なデバイス

- Sx500シリーズスタックブルスイッチ

## [Software Version]

- 1.3.0.62

## TCP輻輳回避の有効化

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、Quality of Service > General > TCP Congestion Avoidanceの順に選択します。「TCP輻輳回避」ページが開きます。

# TCP Congestion Avoidance

TCP Congestion Avoidance:  Enable

Apply

Cancel

ステップ 2 : TCP Congestion Avoidanceをイネーブルにするには、Enableにチェックマークを付けます。

ステップ 3 : [APPLY] をクリックします。TCP輻輳回避は、実行コンフィギュレーションファイルに書き込まれます。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。